

岡田吉弘市長 所信表明

9月の市議会定例会で岡田吉弘市長が就任後初めての所信表明演説を行いました。所信表明は、市長の市政運営の基本的な考えを述べたものです。今月号では、所信表明の概要を市民の皆さんにお知らせします。

☎ 経営企画課 (0848・67・6270)

秘書課 (0848・67・6006)

所信表明演説の全文と映像を市ホームページなどに掲載

所信表明演説の全文を市ホームページの「市長の部屋」のコーナーや、情報公開コーナー（市役所本庁4階）で見ることができます。

また演説の映像を三原テレビ放送のYouTubeチャンネルで公開しています。市ホームページの「市長の部屋」のリンクから視聴することができます。



▲ 市長の部屋の
2次元コード



住んで良かったと誇りを持てるまちをめざします

- 市民の皆さんが「納得感とワクワク感を持てるまちづくり」
- 全ての人が活躍・成長できる「人づくりの先進地域」の実現

5つの重点項目

5
市民とともに
進める地域の
防災対策

4
新たな三原市に
向けた挑戦

3
地域経済の活性化

2
暮らしに安心感を
もたらす

1
子育て支援・
教育の先進地域へ

市役所を「市民の役に立つ所」とする行政のデジタル化・行財政改革への取り組み

めざすまちの実現に向けた市政運営の基本的な考え方

- ① 市民の皆さまの声を広く聴き、**誰一人取り残さない**という思いを市役所全体で共有し、市民のための仕事をしているという意識を持って日々の仕事を進めます。
- ② 透明性のある市政運営のため、市が実施する取り組みについて、さまざまな場面で市民の参画や**積極的な情報公開**を進めます。**市民との対話**を通じて、その思いを市政へ反映していきます。またシティプロモーションを行い、市民の**シビックプライド**を醸成するとともに、市外の人から**選ばれるまち**となるよう、積極的に市の魅力や強みを発信していきます。
- ③ まちづくりの課題が多岐にわたる中、市が単独で課題解決に当たるのではなく、お互いが発展していく**「共存共栄」**の気持ちを持ち、市民や企業、各種団体などと、それぞれの強みや持ち味を生かした連携、協働により、課題解決を図ります。
- ④ **未来の三原を担う人材の育成**を応援します。子どもから大人までさまざまなことにトライする意欲とチャレンジしやすい環境、そして後押しする市民や行政、こうしたことが生まれるまちづくりをめざします。
- ⑤ 市政運営の両輪である議会と連携し、**議員の皆さまとしっかりと対話**し、広く意見を伺いながら、市民にとって真に必要な政策について議論を深め、市民の納得感につながる市政運営に努めていきます。

岡田吉弘市長が取り組む 5つの重点項目

1. 子育て支援・教育の先進地域へ

子育て世代の不安を軽減

- ・子育て世代が安心して育児ができるように、出産や小児医療に関わる医療体制を維持します。
- ・子育ての課題や心配事に丁寧に対応できる相談体制を構築するとともに、保育サービスや支援策の充実を図ります。

人づくりの基盤となる教育を進化

- ・子どもたちの「個性」や「持ち味」を伸ばし、子どもたちが自信を持って新たなステップに進む力を備えることができるよう必要な支援を行います。
- ・小中学校で児童生徒が1人1台のキーボード付き端末を利用できるよう、学習環境のICT化を進めています。整備した環境を最大限に活用し「教育が三原市の強み」といえるように教育委員会と連携し取り組みます。



▲子どもたちの健康を支える小児科診療(写真は三原赤十字病院)



▲学習環境のICT化に向けた学校長への説明会(8月31日ペアシティ三原西館3階)

3. 地域経済の活性化

スピード感ある市内事業者への支援

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、経済団体と連携したスピード感のある支援により、市内の雇用を守ります。

強みを生かした企業誘致

- ・交通の利便性や、整備中の本郷産業団地などの強みを生かし、市長自らが先頭に立って企業誘致などに取り組みます。

市内の事業者の成長支援

- ・AIや5Gなどの新技術を活用し、生産性の向上などにつなげていきます。

持続可能な農業の実現

- ・新たな就農者の育成や農産物の販路拡大、有害鳥獣対策、6次産業化などにより、持続可能な農業の実現をめざします。



▲整備中の本郷産業団地

2. 暮らしに安心感をもたらす

医療・介護・福祉の充実

- ・医師会や社会福祉協議会などと連携して、医療・介護・福祉の充実を図ります。

地域コミュニティの維持・活性化

- ・地域自らが課題の解決に取り組めるよう、住民との連携や、しっかりとした支援を行います。
- ・住民や地域と対話しながら、地域公共交通などの維持や危険空き家・防犯対策などに取り組みます。

全ての人の安心な暮らしの実現

- ・障害のある人や高齢者など、全ての市民が安心して暮らせるよう取り組みます。

自然環境の保全

- ・本郷地域の産業廃棄物最終処分場について、未来の安全安心を守るように実施事業者が、十分な説明を行うよう県と連携し働きかけます。



▲市民生活を支える地域公共交通

5. 市民とともに進める 地域の防災対策

平成30年7月豪雨からの完全復旧

・平成30年7月豪雨からの復旧を引き続き市の重点課題として位置付け、1日も早く完全復旧できるよう全力で取り組んでいきます。

地域防災力の強化

- ・自主防災組織の活性化への支援や、大学や民間事業者と連携した災害対応策の検討、物資輸送などについての民間事業者との協力体制強化などに取り組めます。
- ・災害時にSNSなどを活用し、正確な情報をいち早く市民に伝達できるよう、取り組んでいきます。



▲三原市防災ネットワークが主催した防災体験会(9月6日第二中学校体育館)

4. 新たな三原市に向けた挑戦

中心市街地の再生

- ・経済界や地元商店街などと強力なタッグを組み、中心市街地の再生に向けて取り組みます。
- ・三原内港や西国街道を生かし「心地よい景観」「歩きたくなる街」づくりにチャレンジします。

新しい観光の形成

- ・観光関連団体と連携し、新型コロナウイルス感染症終息後の「新しい観光の形」を準備していきます。

移住定住の促進

- ・市職員が三原の良さを紹介する窓口になるとともに、移住者のニーズに合った支援に取り組めます。
- ・三原の特長を生かし、関係人口の創出を進めます。



▲イベントでにぎわうJR三原駅前のキオラスクエア広場

岡田市長に聞きました

インタビューを通して岡田市長の横顔を紹介します。

JR糸崎駅から木原方面に向かう時に見える海沿いの風景が印象に残っています。学生時代の通学の時に

— 三原の好きな風景を教えてください。

— 三原の好きな風景を教えてください。

— 休日は何をして過ごしていますか。

— 休日は何をして過ごしていますか。



プロフィール

生年月日:昭和60年6月11日(35歳)
出身地:三原市
好きな食べ物:三原焼き(お好み焼き)
座右の銘:素直
略歴:京都大学工学部卒業後、同大学大学院工学研究科修士課程を修了。日東電工株式会社などを経て三原市で一般社団法人人口フレックを設立。令和2年8月三原市長に就任。

— 三原を良くしたい」という初心を忘れず、市長の仕事に取り組んでいきます。

— 今後の意気込みをお願いします。

— 三原には他にもたくさん魅力的な場所があるので、市外に向けてPRしていきたいです。

— プライベートで挑戦したいことはありますか。

— プライベートで挑戦したいことはありますか。